

## 「解答」・「解答例」

選抜区分	2024年度 (選抜区分：一般選抜 前期日程) 文学部 比較文化学科 (科目名：総合問題)
問題 I (解答例)	
問 1	新たな研究論文では、人々が摂るタンパク質の量およびその由来に注意を払うべきであると提唱されている。
問 2	18年の間に、カロリーの10%に満たない量のタンパク質を摂取した65歳未満の人々は、それより多くタンパク質を摂った人々より、重篤な病気によって死亡する確率が低かった。
問 3	彼の研究班の新しいデータから、過剰なタンパク質の摂取が喫煙とほぼ同じくらい健康にとって危険なのは明らかだと、彼は述べている。
問 4	タンパク質を多く含む食事をした人がガンなどの重篤な病気によって死亡する危険性は、その人が65歳を超えていれば低く、そうでなければ高くなる。65歳を境に正反対となるこの調査結果をより良く理解するために、研究者らはその結果が本当に揺るぎないものなのかどうかについて一層検討する必要がある。彼はこのように結論づけた。
問 5	先行研究に従えば、イヌやネズミなどの動物は、通常より約25%少ない量のカロリーを摂取する場合、寿命が延びることがあるという。
問 6	人間を対象とする新たな研究に取り組んだロンゴは、成人が食事する際、いくらかの動物性タンパク質の代わりに、豆や木の实のような植物に由来するタンパク質をもっと多く摂るよう勧めている。
問題 II (解答例)	
(1)	If you write a little and it does not satisfy you, maybe you should write about something else.
(2)	To avoid starting a diary on the first day of a month sounds strange, but it rather allows me to relax and keep a diary.

## 「解答例」

選抜区分	2024年度（選抜区分：一般入試 前期） 文学部 比較文化学科（科目名：総合問題）
<p>問題Ⅲ（標準的な解答例）</p> <p>問一 被験者が不自然な状況でさまざまな無生物について特徴を思いつくよう強制されるような特定の状況下だからこそ、文法的ジェンダーは連想関係に影響を及ぼすのであって、文法的ジェンダーが常に話し手の思考に深い影響を及ぼしていることの証明になっていないという弱点。（125字）</p> <p>問二 被験者から連想関係を聞きだすことなく、連想関係に文法的ジェンダーが及ぼす影響を測るため、英語のみを用いて無生物と人間の名前を関連付けて覚える記憶ゲームを行い、対象物のジェンダーと名前ジェンダーが一致している方が記憶成績がよいことをつきとめたことから、主観的判断の影響を排除しても対象物に文法的に付与されたジェンダーと、男らしさ、女らしさとの間には連想関係があるという結論に至った。（193字）</p> <p>問題Ⅳ（正答と標準的な解答例）</p> <p>問一 ①臆面 ②首脳 ③賠償 ④払拭 ⑤利器 ⑥割賦 ⑦勸善 ⑧円滑 ⑨清算 ⑩奏</p> <p>問二 来客にかこつけて禁止していたお酒を飲む</p> <p>問三 議論や検討が十分になされて、結論が出る段階に近づく。</p>	